

## 『茨城大学地域総合研究所年報』第1号—第47号 総目次

## 第1号 1969年12月

タイトル	執筆者	ページ
創刊によせて	石原道博	1-2
地域の自然区分	斎藤登志雄	3-6
生物地理学における地域区分	佐藤正己	7-27
植物学からみた地域について	鈴木昌友	29-39
地域の概念—地域研究の出発にあたって端初的理解のために—	小林三衛	41-46
農業の地域性についての問題点	高津戸昭三	47-54
地域の概念—地方史の立場から—	豊崎 卓	55-58
「地域史」についての覚書	石原道博	59-65
『地域』の概念—文化心理学的研究のために—	白幡悦子	67-73
言語文化と地域—地域性と結びつく言語教育の問題—	山口 正	75-81
[研究所報告] 茨城大学地域総合研究所設立の経緯	小林三衛	83-86
[研究所報告] 研究例会		87-88
[研究所報告] 研究所規則		89
[研究所報告] 所員名簿		90

## 第2号 1971年3月

タイトル	執筆者	ページ
鹿島開発の周辺—地域史研究(2)—	石原道博	1-15
鹿島鉄鋼・石油化学コンビナート論(1)	武井邦夫	17-28
鹿島臨海工業地帯の造成と土地問題(1)		
—鹿島臨海工業地帯の造成に関する研ノート 1-1—	小林三衛	29-45
地域開発にともなう住民生活の変化と住民意識	白幡悦子・木本英人・	
—鹿島臨海工業地帯, 神栖南部団地における場合(中間報告)—	帯刀 治・古田 仁	47-79
人格質問紙による地域的パーソナリティの一計測	菊池哲彦	81-101
[研究所報告] 研究例会		103-105
[研究所報告] 研究室, 班の活動状況		105-108
[研究所報告] 民俗資料等の寄贈		108-112
[研究所報告] 所員の研究成果		112-114
[研究所報告] 所員の動静		114

## 第3号 1972年3月

タイトル	執筆者	ページ
鹿島開発の周辺(下)—地域史研究(3)—	石原道博	1-18
鹿島開発による地域農業の再編過程(1)	相川哲夫	19-40
鹿島開発が近接農業地帯に及ぼす影響		
—生産函数による鹿行地域の農業構造変化の分析—	中村耕二郎	41-48
鹿島臨海工業地帯造成開始後の同地域における自動車交通と その問題点—特に交通事故とその背景に関する一考察—	菊池哲彦・鈴木由紀生	49-103

地域開発にともなう住民生活の変化と住民意識 －鹿島臨海工業地帯，神栖南部団地における場合－	帯刀 治・白幡悦子・ 木本英人・古田 仁	105－186
--	-------------------------	---------

## 第4号 1972年3月

タイトル	執筆者	ページ
鹿島開発の歴史的課題－地域史研究 (4)－ 鹿島臨海工業地帯の造成と公害問題 (1)	石原道博	1－19
－鹿島臨海工業地帯の造成に関する研究ノート 2-1－ 鹿島鉄鋼・石油化学コンビナート論 (2)	小林三衛 武井邦夫	21－54 55－66

## 第5号 1973年2月

タイトル	執筆者	ページ
鹿島臨海工業地帯の造成と公害問題 (2) －鹿島臨海工業地帯の造成に関する研究ノート 2-2－ 鹿島地域の鉄鋼業および石油化学工業における管理会計の実態 アフガニスタンの歴史と習俗－アジア地域史 (1)－ アフガニスタン農村調査に関する接近方法の検討 研究所報告	小林三衛 飯塚 勲 石原道博 中村耕二郎	1－27 29－45 47－56 57－62 63－69

## 第6号 1973年3月

タイトル	執筆者	ページ
地域開発にともなう住民生活の変化と住民意識－第Ⅱ次調査 －鹿島臨海工業，神栖町および波崎町における場合(その1)－ 産業構造の変革と鹿島開発の焦点 (上)－地域史研究 (5)－ 鹿島臨海工業地帯の造成と水利問題 (1) －鹿島臨海工業地帯の造成に関するノート 3-1－	白幡悦子・帯刀 治・ 木本英人・古田 仁 石原道博 小林三衛	1－48 49－58 59－72

## 第7号 1974年3月

タイトル	執筆者	ページ
地域開発にともなう住民生活の変化と住民意識－第Ⅱ次調査 －鹿島臨海工業，神栖町および波崎町における場合(その2)－ 地域開発にともなう住民生活の変化と住民意識－第Ⅱ次調査 (その3)－神栖町・波崎町の中学生に対する調査結果－ 産業構造の変革と鹿島開発の焦点 (下)－地域史研究 (6)－	白幡悦子・帯刀 治・ 木本英人・古田 仁 白幡悦子・木本英人・ 帯刀治・古田 仁 石原道博	1－28 29－51 53－67

## 第8号 1975年3月

タイトル	執筆者	ページ
青少年の生活態度と未来志向－鹿行地方の高校生における場合 －第1報告－ 日本列島改造と茨城の三大開発 (上)－地域史研究 (7)－ 研究所報告	白幡悦子 石原道博	1－33 35－54 55－57

## 第9号 1976年3月

タイトル	執筆者	ページ
〔巻頭言〕 佐藤, 石原, 高橋 3 所員を送る	小林三衛	i-ii
日本列島改造と茨城の三大開発(下) - 地域史研究(8) -	石原道博	1-22
鹿島臨海工業地帯とその周辺の高校生の交通事故と交通安全意識 - 交通事故介入者, カミナリ族等への「共感者」の 諸属性について -	菊池哲彦	23-69
青少年の生活態度と未来志向 - 鹿行地方の高校生における場合 - 第2報告 -	白幡悦子	71-100
資本の展開と小土地所有論(序)	丹野清秋	101-109
〔研究所報告〕 研究例会		111-114
〔研究所報告〕 所員の動静		114

## 第10号 1977年3月

タイトル	執筆者	ページ
農漁村の変化と住民の生活意識 - 出島村の場合 -	菊池哲彦・白幡悦子	1-27
農漁村の変化と住民の生活意識 - 東村の場合 -	木本英人・鈴木由紀生	29-49
霞ヶ浦周辺市町村の財政状況	武井邦夫	51-66
茨城県における「少年非行」の地理学的考察	中川浩一・矢ノ倉あや子	67-72
機械工業労働者地域と化学工業労働者地域の比較研究 - 日立地域と鹿島地域における住民の社会的性格(その1) -	帯刀 治	73-96
〔研究ノート〕 粉じん公害と住民運動	佐藤守弘	97-115
〔研究所報告〕 刊行モノグラフ, 公開講座		117
〔研究所報告〕 研究例会		117-118
掲載論文一覧(第1号~第10号)		119-121

## 第11号 1978年3月

タイトル	執筆者	ページ
飲酒運転に対するドライバーの意識 - 茨城県の場合 -	鈴木由紀生	1-28
機械工業労働者地域と化学工業労働者地域の比較研究 - 日立地域と鹿島地域における住民の社会的性格(その2) -	帯刀 治	29-59
アダム・ミュラーの『農業書簡』 - 反「近代化」の理論をめぐって -	相川哲夫	61-77
茨城県同和对策事業前史 - 略年表を中心にして -	中川浩一・森山峰子	79-92
〔研究所報告〕 規則改正, 公開講座		93-95

## 第12号 1979年3月

タイトル	執筆者	ページ
茨城大学地域総合研究所創立10周年を迎えて	小林三衛	
瀬谷, 古田 2 所員を送る	小林三衛	
農業集約化の経済構造 - 低成長経済下の農家経済分析 -	相川哲夫	1-19
アフガニスタンの水と土地	小林三衛	21-44

筑後川の水とその利用	小林三衛	45-55
鹿島；日本における地域経済開発の政治学	R.T.Levis, 武井邦夫訳	57-69
[研究所報告] 所員の動静, 公開講座, 研究例会, 所員の研究成果		71-79

## 第13号 1980年 3月

タイトル	執筆者	ページ
農村空間整備と農業経営学の課題	相川哲夫	1-15
中高年労働者の職業歴と生活設計 - 日立市「中規模」下請企業調査の中間的総括 -	松村直道	17-30
日立市における選挙の企業性格 - 企業都市日立の研究ノート (1) -	小林三衛	31-53

## 第14号 1981年 3月

タイトル	執筆者	ページ
豊崎卓所員を送る	小林三衛	
霞ヶ浦の水質汚濁とその対策	小林三衛	1-20
乳量の推移確率	中村耕二郎	21-34
ポナベ島民の生活様式 (1)	木本英人	35-46
ポナベ島の土地制度について (1) - 研究をはじめるとあって -	小林三衛	47-54
[調査報告] 上流堰の改修と下流慣行水利権 - 福岡県小郡市大板井堰の事例 -	小林三衛	55-59

## 第15号 1982年 3月

タイトル	執筆者	ページ
ミクロネシア連邦ポナベ島における後紀第四紀海水面変動	斎藤登志雄	1-8
イギリスの国民性 - イギリス学序論 -	武井邦夫	9-22
霞ヶ浦富栄養化防止条例の制定	小林三衛	23-44
福岡県田主丸町における植木生産	小林三衛	45-51
[資料] アフガニスタン革命の推移 (1)	小林三衛	53-84

## 第16号 1983年 3月

タイトル	執筆者	ページ
桜井明俊所員を送る	小林三衛	1-2
豊崎卓教授の人と業績を偲ぶ	瀬谷義彦	3-4
霞ヶ浦富栄養化防止条例の制定 (補遺)	小林三衛	5-14
イギリスの国民性 (2) - イギリス学序論 -	武井邦夫	15-30
乳牛の更新政策	中村耕二郎	31-46

## 第17号 1984年3月

タイトル	執筆者	ページ
藤村通所員を送る	小林三衛	1-2
ミクロネシア連邦における後氷期海水準変動	斎藤登志雄	3-16
養豚経営の資金動態分析-茨城県における-	相川哲夫	17-32
茨城の社会福祉の現状と課題	松村直道	33-56
長野県小海町稲子の入会権	小林三衛・黒木三郎	57-90
イギリスの国民性 (3)	武井邦夫	91-102

## 第18号 1985年3月

タイトル	執筆者	ページ
佐藤正己先生の御逝去をいたむ	鈴木昌友	1-2
藤村通先生の御逝去をいたむ	守屋孝彦	3-4
工業都市の経済変動と市民生活-1960~70年代の日立市分析-	松村直道	5-17
ポナベ島民の生活様式 (2)		
-伝統的メディスンについて (その1) -	木本英人	19-29
環境認知問題と地域社会研究	井上芳保	31-43
[研究ノート] 水戸の都市形成史	斎藤義則	45-68
[資料] アフガニスタン革命の推移 (2)	小林三衛	69-125

## 第19号 1986年3月

タイトル	執筆者	ページ
高橋栄先生を偲ぶ	櫻井明俊	1-2
北浦の水生植物	鈴木昌友・森 豊児	3-19
洗剤公害に対する関心と使用洗剤-消費者の認知と行動-	鈴木由紀生	21-34
茨城県火力発電史	中川浩一	35-43
入会林野整備の実施状況 (1)	小林三衛	45-62
英雄観にみる国民性 (1)	武井邦夫	63-68
地域社会科学の方法と生活世界分析-「地域とは何か」再考-	井上芳保	69-84
[研究ノート] バングラデシュの農村生活と NGO	松村直道	85-92
[資料] 水戸市吉沢地区のまちづくり	斎藤登志雄・小林三衛・	
-地域コミュニティ講座-	武井邦夫・斎藤義則・	
	菊池哲彦・松村直道	93-111

## 第20号 1987年3月

タイトル	執筆者	ページ
地域総合研究所年報 第20号の刊行にあたって	小林三衛	1-2
族外婚についての一考察	小林三衛	3-18
日本近代化の視点	武井邦夫	19-26
第一次大戦前のオーストリア・ハンガリーの都市と農村 (1)		
-東欧地域社会史研究序説-	佐藤勝則	27-39
都市空間の現在-「都市的なるもの」の消失をめぐって-	井上芳保	41-52

[研究ノート] ポナペの伝統的病気治療法	木本英人	53-60
[資料] 茨城大学地域総合研究所年報掲載論文一覧 (第1号~第20号)		61-64

## 第21号 1988年3月

タイトル	執筆者	ページ
小林三衛・木本英人 両所員を送る	松村直道	1-2
[小特集「鹿島開発-その後」] 鹿島開発と産業構造の変化に関するノート-鹿島開発四分の一世紀における「農工両全」の検証-	丹野清秋	3-34
[小特集「鹿島開発-その後」] 鹿島開発後の農村土地問題と村づくり-大洋村における「ミニ別荘」開発の展開(1)-	松村直道	35-47
[研究ノート] ポンペイのメディスンをめぐる慣習	木本英人	49-56
[研究ノート] アフリカにおける開発と自立 -ルワンダ共和国独立25周年に寄せて-	佐藤勝則	57-72
1987年度研究例会活動記録		73

## 第22号 1989年3月

タイトル	執筆者	ページ
丸田宗平・久保田治夫両所員をおくる	松村直道	1-2
[特集「企業城下町日立の研究」] 日立市における福祉ボランティアの集団構造と組織過程(その1) -組織の主体性についての中間的考察	松村直道	3-18
[特集「企業城下町日立の研究」]「企業都市」 日立市の住民生活構造(1)-日立市の人口構成と住宅政策	長谷川幸介	19-47
[特集「企業城下町日立の研究」] 生涯学習推進で「行政参加」の試み-ひたち生き生き百年塾運動をとおして-	伊藤智毅	49-59
[特集「企業城下町日立の研究」] 社会福祉協議会の課題と福祉戦略	大窪輝男	61-77
[特集「企業城下町日立の研究」] 都市型宗教の構造と機能	井上芳保	79-100
[資料] 常陸那珂火力発電所と環境問題について	田中重博	101-138
[資料] 1988年度地域研究所活動概要		139-140

## 第23号 1990年3月

タイトル	執筆者	ページ
[特集「開発資源問題」] 農村地域の水質保全と霞ヶ浦	田淵俊雄	1-16
[特集「開発資源問題」] 茨城県における土壌および道路わき粉じんの重金属汚染	浅見輝男	17-45
[特集「開発資源問題」] 鹿島開発における公共投資の成果管理 -農業保護と工業保護の比較の観点から-	相川哲夫	47-103
[特集「開発資源問題」] 茨城県のリゾート開発における民間の役割と公的規制	真山達志	105-114

1989年度地域研究所活動内容		115
-----------------	--	-----

## 第24号 1991年3月

タイトル	執筆者	ページ
中小都市の居住地特性と都市圏における役割について [研究ノート] 足立区地域福祉運動の実践から学ぶ — 児童福祉司, 上坪陽氏の証言 (1)	斎藤義則	1-14
[研究ノート] 「日立市の住宅問題と地域生活についての調査」 の概要	佐藤勝則	15-36
[研究資料] 「企業城下町日立の都市形成」に関する研究資料	松村直道	37-41
[書評] 松村直道著『地域福祉政策と老後生活』(勁草書房1990) について	斎藤義則・工藤祐治	43-70
1990年度地域研究所活動内容	渋谷敦司	71-72 73

## 第25号 1992年3月

タイトル	執筆者	ページ
日立市における二つの同質化, 平準化 住宅階層と生活意識・生活構造 — 一定住志向者と転居志向者の比較分析 —	雨宮昭一	1-9
社会福祉協議会のあゆみと今後の展望	松村直道 飛田和広	11-20 21-36

## 第26号 1993年3月

タイトル	執筆者	ページ
斎藤登志雄・白幡悦子所員を送る	帯刀 治	1-3
フェミニズムの視点からみたコミュニティ・ケア政策の問題点	渋谷敦司	5-26
日立市における選挙の企業的性格 — 企業都市日立の研究ノート (2) —	小林三衛	27-58
[研究ノート] 生涯学習時代への国立大学の取り組み — 公開講座の現状と課題 —	竹内結香	59-73
1993年度地域研究所活動内容		75

## 第27号 1994年3月

タイトル	執筆者	ページ
菊池哲彦所員を送る	帯刀 治	i- iii
[常陽亀山記念館竣工記念講演会] 地球環境とサステナブル・ ディベロプメント—水産の場合	橋本周久	1-25
[常陽亀山記念館竣工記念講演会] 福祉社会の形成と企業行動の 新規準	石川 周	27-49
[緊急特別シンポジウム] 茨城県政の現状と課題 — 県政刷新の課題	雨宮昭一 [司会]	51-68
千波湖干拓と昭和戦前期の千波湖をめぐる諸問題 — 水戸の近代化と千波湖 (2)	大槻 功	69-90

[研究活動報告] 那珂川流域の地域システムの構造とその変容 － (環境プロジェクト・グループ報告)	堀 良道	91-93
[研究活動報告] 混住社会における地域システム － (「地域ビジョン研究会」活動報告)	斎藤義則	93
[研究活動報告] 福祉社会研究グループ活動報告	秋元美世	94
1994年度地域研究所活動内容		95

## 第28号 1995年 3月

タイトル	執筆者	ページ
武井邦夫所員を送る	帯刀 治	1-4
私の地域研究	武井邦夫	5-10
占領期における自治体の分離運動とその歴史的位 置 － 富山県新湊町の分離運動を例に－	雨宮昭一・荒木田岳	11-29
わが国の精神医療－現状と課題－	飯塚和之	31-43
韓国における経済力集中の規制	盧 秉 昊	45-54
The Development and Prospect of The Measure of Security in Korea in Korea	LEE, SEUNG HO	55-63
[研究活動報告] 混住社会における地域システム － (地域ビジョン研究グループ活動報告)	斎藤義則	65
[研究活動報告] 福祉社会研究グループ活動報告	秋元美世	65-68
[研究活動報告] 社会的混住化, 混住社会 － その理論的射程をめぐって	雨宮昭一	68-74
1994年度地域総合研究所活動報告		75

## 第29号 1996年 3月

タイトル	執筆者	ページ
茨城県の「地域開発」	小林三衛	1-16
茨城の女性のライフイベントと育児支援	渋谷敦司	17-35
鹿島灘海岸における近年の海浜地形変化	村瀬径介・三村信男	37-44
[資料と解説] 茨城県内市町村の老人保健福祉計画の基礎的指標 と評価	松村直道・伊達慶彦	45-77
1995年度地域総合研究所活動報告		79-83

## 第30号 1997年 3月

タイトル	執筆者	ページ
鈴木昌友・相川哲夫・中川浩一所員を送る	帯刀 治	i-iv
女性政策の可能性－「水戸市女性行動計画」を中心として	酒井はるみ	1-7
大阪における地域・家族・ジェンダー関係のリストラクチュアリ ングと女性政策	渋谷敦司	9-24
地域を支える新たな主体の発見	雨宮昭一	25-32
[翻訳] Community based social services : 地域に根ざした 社会サービスの組織と実践	松村直道	33-42



1996年度地域総合研究所活動報告		43-64
-------------------	--	-------

## 第31号 1998年3月

タイトル	執筆者	ページ
茨城県涸沼の環境資源	阿須間幸男・堀江美紀・ 石井 亮・三浦啓吾・ 大嶋和雄	1-21
町村レベルの政争-1920~30年代山梨県塩山市域町村の自治・ 財源・担い手の変化を中心に 占領期における地域の女性の「主体」形成 -茨城県の婦人会結成を中心に-	雨宮昭一	23-38
製造物責任(PL)制度導入の政治過程	守田幸子・雨宮昭一	39-51
茨城県三地域(1979年)の植生・土地利用区分における 統計学的性質	井上拓也	53-82
日本軍政下の南方石油-スマトラを事例として-	塩見正衛・安田泰輔・ 堀良 通	83-91
[研究ノート] 第41回衆議院総選挙結果と選挙区の地域特性	金 光男	93-124
[彙報] 地域総合研究所平成9(1997)年度活動報告	高木彰彦	125-138
		139-143

## 第32号 1999年3月

タイトル	執筆者	ページ
1998年フィリピン下院議員選挙と政党名簿制の導入	木村昌孝	1-20
ネオ・プルーリズムと消費者政治	井上拓也	21-40
EU統合と国境を超える社会権構築の可能性 -社会的ヨーロッパを求める失業者による「ヨーロッパ行進」 の事例から-	稲葉奈々子	41-56
茨城県の県民性に関する地理学的研究	佐藤道子・高木彰彦	57-82
[書評] 松村直道著『高齢者福祉の創造と地域福祉開発』	吉沢 明	83-91
[彙報] 1998年度地域総合研究所活動報告		93-97
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		98-99

## 第33号 2000年3月

タイトル	執筆者	ページ
吉田昭久所員を送る	雨宮昭一	1-2
フィリピン政治研究におけるダイアド・モデルの展開	木村昌孝	3-15
涸沼のヘドロを利用した環境再生	光田圭一郎・大津正一・ 大嶋和雄	17-27
ホームヘルパー拡充の経済的効果-財政との関連から	野村泰之・大槻 功	29-51
[彙報] 1999年度地域総合研究所活動報告		53-73
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		75-76

## 別冊『日立地域の現状と未来』2000年9月

タイトル	執筆者	ページ
はしがき	雨宮昭一	
序 日立地域の現状と未来	雨宮昭一	1-13
日立市の工業と日立地区産業支援センター	小山高一・橋本 治	1-12
日立地域下請け企業群の現状と展望 －タテ型組織からヨコ型のネットワーク組織へ	古山幹雄	13-22
私が日立市と出会った日	佐々木敏哉	23-33
スポーツによる街づくりの可能性	梶 修明	35-45
日立市の介護保険の現状と方向	中山俊恵	47-62
日立の医療の現状と課題について	伊藤和文	63-71
塙山コミュニティにおける福祉の実験	西村ミチ江	73-84
大みかファックス事業で見た社会福祉と情報化	石井仁志	85-108
ナイトバザールで活性化 (TMO 活動モデル)	百目鬼孝夫・高野 賢	109-111
常陸多賀商店会の取り組み	篠原昭治	113-116
日立市における市民と政治	伊藤智毅	117-123
池の川幼稚園の実践から学んだ障害者福祉の一考察	木村 統	125-130
かみね動物園の現状と活性化について	今野幸樹	131-135
創造とふれあいの都市・日立	福田邦治	137-151
共楽館～芝居小屋復興へのみちすじ～	武士正員	153-162
生かせ伝統的遺産 そして生き残る街づくり	西成田輝	163-172
「ひたち未来研究会」(仮称)の発会準備によせて	帯刀 治	173-181
反省・展望・課題－2000年初に	帯刀 治	183-188
日立の都市計画－自己の多元性を媒介にした都市空間の再編成	斎藤義則	189-198
日立市の女性行政	渋谷敦司	199-208
文化財保護と歴史的遺産の保存・活用	井上拓也	209-216
あとがき		

## 第34号 2001年3月

タイトル	執筆者	ページ
原子力災害と食料・農業問題 －「共存路線」の困難をめぐる一考察－	河野直践	1-19
タイ投資政策と通貨経済危機	山本博史	21-32
移住労働者のエンパワーメントに向けて －支援組織による取り組みを中心に	小ヶ谷千穂・稲葉奈々子・ 小笠原公子・丹野清人・ 樋口直人	33-57
ヤマトシジミによる涸沼の水質浄化	平川晃子・大嶋和雄	59-69
鹿島灘海岸の環境評価	津幡紀昭・日向野崇・ 菊池真士・大嶋和雄	71-81
[研究ノート] 北関東のNPO 法人の現状と課題	磯崎こず恵・帯刀 治	83-93
[研究ノート] 「東海村臨界事故に関するアンケート」単純集計 結果	井上拓也・河野直践・ 齊藤充弘	95-120

[彙報]「東海村臨界事故の総合研究と地域社会における原子力 防災教材の開発」ープロジェクト経過報告ー		121-124
[彙報] 2000年度地域総合研究所活動報告		125-132
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		133-134

## 第35号 2002年3月

タイトル	執筆者	ページ
農業者による原発反対運動の展開と地域農業振興の足跡 ー高知県窪川町と宮崎県串間市の事例からー	河野直践	1-18
茨城県の電力エネルギーの現状と地球温暖化問題への対応	野田二次男・丹賢一・ 鈴木光弘	19-37
ヤマトシジミによる涸沼の水質浄化. その2 ーヤマトシジミの食性によるCOD形態の変化	村沢明美・大嶋和雄	39-45
ヤマトシジミによる涸沼の水質浄化. その3 ー涸沼のヤマトシジミ漁場改善	川村真由子・大嶋和雄	47-54
鹿島灘沿岸固有の貝類群	丸山順子・大嶋和雄	55-63
容器包装リサイクルの現状と課題 ー茨城県水戸市とひたちなか市の場合ー	劉 曉 燕・大嶋和雄	65-73
[彙報] 地域総合研究所平成13(2001)年度活動報告		75-84
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		85-86

## 別冊『東海村臨界事故と地域社会』2002年3月

タイトル	執筆者	ページ
はじめに	雨宮昭一	
「東海村臨界事故の総合研究」と『東海村臨界事故と地域社会』	井上拓也	i-iv
第1部 研究報告		
1. 東海村臨界事故		
(1) JOC事故でどのようなことが起こったのか	田切美智雄	1-26
2. 東海村臨界事故の社会と自然への影響		
(1) 地域農業論からみた「東海村臨界事故」の論点と考察	河野直践	27-44
(2) JCO臨界事故：JCO東海事業所ならびに住友金属鉱業(株) の財務状況からの一考察	高井美智明	45-56
(3) 東海村とひたちなか市の自然放射線と土壌の化学的特性	田切美智雄・池田昌幹・ 菊池真一・木村早苗・ 後藤諭子	57-68
3. 防災・避難と救済		
(1) チェルノブイリ原子力発電所事故の科学的処理法の東海村 への適用	熊沢紀之・小澤達也・ V.G.Sergeyev・ V.B.Rogacheva・ A.B.Zezin	69-76
(2) 損害軽減「避難経路シミュレーション」	桑原祐史	77-84
(3) 東海村臨界事故における風評被害と損害賠償	住田英穂	85-102

4. 住民の意識と組織		
(1) 原子力関連パンフレットが謳う「安全」の受けとめられ方 －素人理論の観点から－	伊藤哲司	103－120
(2) フランスにおける放射性廃棄物をめぐる反原子力運動の展開	稲葉奈々子	121－128
(3) 地域住民組織の組織と役割 －「町内会・区会に関するアンケート調査」より－	井上拓也	129－142
(4) 住民意識にみる東海村臨界事故の影響と原子力災害対策の課題について	齊藤充弘	143－150
5. 地域づくりと意思決定過程		
(1) 東海村における原子力関連企業の分散立地の背景と地域システム	斎藤義則・齊藤充弘	151－174
(2) 「風評被害」の克服と地域づくり－水俣市の場合－	雨宮昭一	175－180
(3) サイクル機構再処理施設運転再開をめぐる住民の意見と再開決定過程	雨宮昭一	181－190
第2部 資料		
1. 調査		
(1) 「東海村防災訓練 原子力知地域社会に関するアンケート調査」調査票および単純集計結果		191－197
(2) 「東海村臨界事故に関するアンケート」単純集計結果		198－223
(3) 「町内会 区会に関するアンケート調査」調査票および単純集計結果		224－238
(4) 水戸市「地区会に関するアンケート調査」調査票および単純集計結果		239－248
2. 調査報告		
(1) 平成13年度・経過報告「東海村臨界事故の総合研究と原子力防災教材の開発」経過報告		249－252
(2) 総合科目“原子力施設と地域社会”実施報告		253－263
(3) プロジェクトの軌跡		264
執筆者一覧		
あとがき	井上拓也	

## 第36号 2003年3月

タイトル	執筆者	ページ
長谷川伸三所員を送る	雨宮昭一	1
塩見正衛所員を送る	雨宮昭一	2
高齢者在宅生活支援と地域ボランティアの役割 －地域ケアシステムの実証研究	任 春生・松村直道	3－24
大学教育施設のバリアフリーの現状と課題 －茨城大学および茨城キリスト教大学教育施設を比較して－ [研究ノート] 滞日バンングラデシュ人の労働者・出稼ぎの帰結 －帰還移民50人への聞き取りを通じて－	有賀絵理・大嶋和雄 樋口直人・稲葉奈々子	25－41 43－66

[彙報] 地域総合研究所2002（平成14）年度活動報告	67-77
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定	79-80

## 第37号 2004年3月

タイトル	執筆者	ページ
鈴木由紀生所員を送る	斎藤義則	1
守屋孝彦所員を送る	斎藤義則	2
徳江和雄所員を送る	斎藤義則	3
大嶋和雄所員を送る	斎藤義則	4
NPO（非営利組織）の可能性－茨城のまちづくり NPOを中心に	帯刀 治	5-27
NPOをめぐる地域状況，課題と今後の発展に必要なこと	横田能洋	29-42
パートタイム労働者就業動機の構造	神谷拓平	43-60
マージナル化か，ニッチ形成か－滞日バンングラデシュ人の労働市場，1985-2001－	樋口直人・稲葉奈々子	61-70
[研究ノート] 茨城大学教育施設のバリアフリー改善策	有賀絵理	71-82
[違法] 地域総合研究所2003（平成15）年度活動報告		83-95
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		97-98

## 第38号 2005年3月

タイトル	執筆者	ページ
市民運動としての裁判（1）－水戸市全隈町における産業廃棄物最終処分場建設に反対する事例を通して－	小林三衛	1-23
鹿島開発の「収束」－波崎町の土地改良事業にピリオド－	先崎千尋	25-36
ポスト55年体制下の社会意識と地方政治	高木竜輔・丸山真央・	
－徳島市における投票行動の分析を通じて－	村瀬博志・久保田滋・	
	矢部拓也・樋口直人	37-62
[彙報] 地域総合研究所2004（平成16）年度活動報告		63-73
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		75-76

## 別冊『東海村原子力防災対策と地域社会』2005年3月

タイトル	執筆者	ページ
はじめに	斎藤義則	
東海村原子力施設内の土壌の環境放射線について	田切美智雄・栗田浩二・	
	赤星勝則	1-5
天然高分子イオンを用いた土壌固定方法の開発	熊沢紀之・小澤達也・	
	V.G.Sergeyev・	
	V.B.Rogacheva・	
	A.B.Zezin	7-11
災害避難場所の現状と改善案－茨城県日立市久慈学区から－	有賀絵里	13-22
小学生による生活環境の点検・評価からみた防災避難対策の課題－子供が安心して暮らせる地域システムの再構築に向けて－	斎藤義則	23-40

東海村原子力関連施設を対象とした避難関連基盤情報の構築	桑原祐史・小柳武和・赤星 卓	41-50
社会における意思決定の計算機シミュレーション	小澤 哲	51-57
原子力ビデオ教材作成に関する報告	熊沢紀之	59-61
エネルギー政策と風力発電-デンマークと日本-	雨宮昭一・大澤智直	63-110
エネルギー政策と風力発電-デンマークと日本-補論1 原子力政策と地域システム - スウェーデン, ドイツ -	雨宮昭一・大澤智直	111-112
エネルギー政策と風力発電-デンマークと日本-補論2 エネルギー政策と産業システム, 地域システム - イタリアを中心に -	雨宮昭一・大澤智直	112-113
エネルギー政策と風力発電-デンマークと日本-補論3 体制転換と「市民社会」「地域福祉」- チェコ, ハンガリー -	雨宮昭一・大澤智直	113-115
原子力施設の立地問題と地域農業・農村振興の課題 - 各地における農業者・住民の対応実態調査をもとに -	河野直践	117-138
原子力とジェンダー-東海村 JCO 事故関連調査からの一考察-	渋谷敦司	139-171

## 第39号 2006年 3月

タイトル	執筆者	ページ
市民運動としての裁判 (2) - 水戸市全隈町における産業廃棄物 最終処分場建設に反対する事例をとおして	小林三衛	1-21
茨城県経済の基礎構造とその変化 - 3 部門産業連関表の検討	徳江和雄	23-53
市民におけるメディア参加の意義と課題 - ケーブルテレビを例として	松本憲始・岩佐淳一	55-69
鹿嶋神宮参道周辺地区の魅力再生と活性化	西岡邦彦・小林千春	71-85
モノを活かす 人が動く ところをつなぐ - 先が見えない時代のまちづくり	先崎千尋	87-101
「劇場型選挙」のプロレゴメナー-2005年総選挙における東京都民 の投票行動と社会意識	松谷 満・高木竜輔・丸山真央・久保田滋・樋口直人・矢部拓也・村瀬博志・町村敬志	103-140
身体障害者用駐車場の現状と課題	有賀絵理	141-145
アメリカ消費者団体の組織と選好	井上拓也	147-175
[彙報] 地域総合研究所2005 (平成17) 年度活動報告	斎藤義則	177-188
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		189-190

## 第40号 2007年 3月

タイトル	執筆者	ページ
市民運動としての裁判 (3) - 水戸市全隈町における産業廃棄物 最終処分場建設に反対する事例をとおして -	小林三衛	1-14
「東南アジア現代史」からみた韓国	金 光男	15-24
かしま灘楽習塾開講までの経緯	西岡邦彦・小林千春・君和田毅・大淵勝利	25-39

ポピュリズムと底辺民主主義の隘路－2006年長野県知事選での田中康夫の敗北をめぐる投票行動－	丸山真央・高木竜輔・久保田滋・樋口直人・松谷 満・矢部拓也 有賀絵理	41－75 77－85
[研究ノート] 災害弱者の避難方法と課題		
[講演会・シンポジウム報告] 農協運動の今後の方向と改革の課題	先崎千尋	87－99
[彙報] 地域総合研究所2006（平成18）年度研究活動報告	斎藤義則	101－107
[彙報] 地域総合研究所2007（平成19）年度研究活動計画		109－112
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		113－114

## 第41号 2008年 3月

タイトル	執筆者	ページ
[論文] 日立電鉄線存廃問題と地域社会（上） －企業城下町における存続運動の組織化と展開－	帯刀 治・山田 稔・斎藤康則・伊藤智毅・西村ミチ江・篠原睦美・相原正夫	1－21
[論文] 日立電鉄線存廃問題と地域社会（下） －存続運動が日立・常陸太田地域に投げかけたもの－	帯刀 治・山田 稔・斎藤康則・伊藤智毅・西村ミチ江・篠原睦美・相原正夫	23－42
[論文] 災害時要援護者の避難訓練の事例と現状	有賀絵理	43－50
[学術論文] フィリピン下院議員選挙における政党名簿制の諸問題－議席配分メカニズムを中心に－	木村昌孝	51－65
[学術論文] 滞日イラン人・帰国の経緯と帰国後の経験 －出稼ぎイラン人の軌跡・帰国編－	樋口直人・稲葉奈々子	67－79
[学術論文] 日本型ポピュリズムの論理と心情 －2007年東京都知事選における有権者の投票行動の分析－	丸山真央・松谷 満・久保田滋・伊藤美登里・矢部拓也・田辺俊介・高木竜輔	81－115
[研究ノート] デカセギと家族（3） －完全な定住と事実上の定住の間・C家の場合－	樋口直人・稲葉奈々子	117－123
[彙報] 地域総合研究所2007（平成19）年度研究活動報告	渋谷敦司	125－131
[彙報] 地域総合研究所2008（平成20）年度研究活動計画		133－135
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		137－138

## 第42号 2009年 3月

タイトル	執筆者	ページ
[論文] 福祉サービス評価の集権化と当事者主体の評価 －自己評価と利用者評価の比較、及び地域社会貢献の検討－	松村直道	1－9
[論文] 鹿嶋の民話編纂と普及	西岡邦彦・布施琢也・大淵弘子	11－21

[学術論文] アルゼンチンからのデカセギ研究・序説 ーデカセギの概要と仮説提示の試みー	樋口直人・稲葉奈々子	23-39
[学術論文] 若者におけるポピュリズムの支持基盤 ーミリュー・アプローチによる実証的検討ー	松谷 満	41-59
[研究ノート] デカセギと家族 (5) ー家離散と再結合の過程・E 一家の場合ー	樋口直人・稲葉奈々子	61-67
[彙報] 地域総合研究所2008 (平成20) 年度研究活動報告	渋谷敦司	69-72
[彙報] 地域総合研究所2009 (平成21) 年度研究活動計画		73-76
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		77-78

## 第43号 2010年 3月

タイトル	執筆者	ページ
帯刀治所員・元所長, 田切美智雄所員, 大槻功所員を送る	渋谷敦司	1
[論文] フィリピン下院議員選挙における政党名簿制に関する ー考察ー1996年憲法制定委員会から2009年最高裁判決までを 振り返り	木村昌孝	3-30
[論文] ユニバーサルアウトドア拡大への取り組みー大洗にてー	有賀絵理	31-37
[学術論文] 官収前の高島炭鉱をめぐるー考察	金 光男	39-50
[学術論文] 政治選択と原子力政策ーJCO 臨界事故10年目の 衆議院選挙と東海村村長選挙投票行動と住民意識ー	渋谷敦司	51-74
[研究ノート] 国境を超える社会運動と直接民主主義 ー2008年洞爺湖サミット抗議行動における「持たざる者の 運動」からの考察ー	稲葉奈々子	75-84
[研究ノート] デカセギと家族 (9) ーライフコース上のそれぞれの帰結・I 一家の場合ー	樋口直人・稲葉奈々子	85-94
[講演会・シンポジウム報告] 東海村に農業は必要か ー東海村の地域振興と農業・環境の位置付けー	先崎千尋	95-105
[彙報] 地域総合研究所2009 (平成21) 年度研究活動報告	渋谷敦司	107-111
[彙報] 地域総合研究所2010 (平成22) 年度研究活動計画		113-115
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		117-118

## 第44号 2011年 3月

タイトル	執筆者	ページ
[学術論文] 建築協定地区における協定違反の現状と課題 ー水戸市Sタウンの場合ー	乾 康代・野澤 通	1-10
[学術論文] 家族・ジェンダーからみる在日外国人 ー2000年国勢調査データ分析からー	大曲由紀子・高谷 幸・ 鍛冶 致・稲葉奈々子・ 樋口直人	11-25
[学術論文] 在日外国人の仕事 ー2000年国勢調査データ分析からー	大曲由紀子・高谷 幸・ 鍛冶 致・稲葉奈々子・ 樋口直人	27-42
[学術論文] 米国の在外不在者投票制度ー最近の改革を中心にー	木村昌孝	43-54



[学術論文] 原子力政策態度クラスターと科学・技術政策分野のローカル・ガバナンス	渋谷敦司	55-77
[論文] 障がい者福祉からみる社会的企業に必要な課題	有賀絵理	79-84
[論文] 鹿嶋市における郷土教育と教材づくり	西岡邦彦・森下松寿・衣嶋昌俊	85-95
[研究ノート] 大学における環境社会学教育と環境社会学リテラシー	内山弘美	97-102
[研究ノート] 鹿嶋国際環境・省エネモデルシティ構想の提案	田鍋一樹	103-115
[研究ノート] 鹿嶋市の地域課題 - 鹿嶋市議会における公約と一般質問に関する基礎調査 -	渡辺明人	117-129
[彙報] 地域総合研究所2010(平成22)年度活動報告	渋谷敦司	131-136
[彙報] 地域総合研究所2011(平成23)年度研究活動計画		137-138
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		139-140

## 第45号 2012年3月

タイトル	執筆者	ページ
飯塚和之所員, 中島紀一所員, 森野浩所員を送る [特集: 東日本大震災・福島第一原発事故と地域社会] 東日本大震災による茨城県の住宅被害集中地区の被害実態と地域課題	井上拓也	1-3
[特集: 東日本大震災・福島第一原発事故と地域社会] 福島第一原子力発電所事故と「原子力と地域社会」に関する調査活動について	乾 康代	5-19
[特集: 東日本大震災・福島第一原発事故と地域社会] 福島原発避難者の支援活動と課題-福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト茨城拠点の活動記録-	渋谷敦司	21-38
[特集: 東日本大震災・福島第一原発事故と地域社会] 福島原発避難者の支援活動と課題-福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト茨城拠点の活動記録-	原口弥生	39-48
[学術論文] フィリピンの選挙行政における情報通信技術(ICT)の導入-2010年同時選挙の全国的自動化を中心に	木村昌孝	49-67
[学術論文] 利益団体研究と日本の消費者団体	井上拓也	69-85
[論文] 近隣社会の変貌-昭和30年代と現在 - 静岡県磐田市石原町の事例を中心として -	神谷拓平	87-120
[論文] 鹿島神宮門前町の賑わいづくり	西岡邦彦・桐沢いづみ・大里ミヨ子	121-133
[論文] 子育て支援の現状と課題-水戸市を事例として	服部点子	135-144
[研究ノート] 環境・省エネ関連シティトレンドにおけるKMC構想の位置づけ	田鍋一樹・村上陽一	145-159
[研究ノート] 行動する保守の論理(4)	樋口直人	161-176
[研究ノート] デカセギと家族(14)	樋口直人・稲葉奈々子	177-184
[シンポジウム] 地域社会と大学の協働を目指して	上月良祐・大和田一雄・山本和朗・井上拓也・	
	兪 和	185-211
[彙報] 地域総合研究所2011(平成23)年度活動報告	井上拓也	213-220

[彙報] 地域総合研究所2012 (平成24) 年度研究活動計画	井上拓也	221-222
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		223-224

## 第46号 2013年 3月

タイトル	執筆者	ページ
小柳武和所員, 田中重博所員, 堀良通所員を送る	井上拓也	1-3
[学術論文] フランスにおける近年の地方制度改革 - 地方分権の終焉か? -	佐川泰弘	5-17
[学術論文] 福島原発事故と茨城県における原子力政策をめぐる 政治的争点の変化と住民意識	渋谷敦司	19-47
[論文] 東日本大震災による茨城県の県外避難者の避難実態	乾 康代・山崎古都子・ 田中宏子	49-59
[論文] 東日本大震災にともなう茨城県への広域避難者 アンケート調査結果	原口弥生	61-80
[研究ノート] 「行動する保守」の論理 (7) - 「ネット右翼のカリスマ」Z氏の場合-	樋口直人	81-90
[彙報] 地域総合研究所2012 (平成24) 年度活動報告	井上拓也	91-100
[彙報] 地域総合研究所2013 (平成25) 年度研究活動計画	井上拓也	101-102
[彙報] 茨城大学地域総合研究所年報投稿規定		103

## 第47号 2014年 3月

タイトル	執筆者	ページ
お 礼	斎藤義則	1
[学術論文] 原子力発電所の立地規制と地域計画 - わが国最初の東海原子力発電所および核燃料再処理施設の 立地過程- 1956年から1970年の資料分析	乾 康代	3-13
[学術論文] 福島原発事故後の原子力意識のジェンダー差分析	渋谷敦司	15-36
『茨城大学地域総合研究所年報』第1号-第47号 総目次		37-54
茨城大学地域総合研究所歴代所長		55